

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月17日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800244
法人名	特定非営利活動法人 NPOみなまた
事業所名	グループホーム 三郎の家
所在地	鹿児島県出水市住吉町6番18号 (電話) 0996-65-7740
自己評価作成日	平成30年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年3月2日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所の環境は、海の入江に面しており、縁側からの眺めには海と出水平野の奥に紫尾山が一望できます。海が満たされていると何とも言えない癒しの場になります。利用者様によっては、縁側で景色を見たりゆっくりとした時間を過ごすことを楽しまれている方もいます。

日常生活場面では、利用者様の持っている力(身体の力・心や感覚の力)を大切にしています。人は、誰かに頼られ感謝されることで自分として存在出来ると思います。利用者様のさり気ない心配りに感謝の気持ちで言葉を伝えることを大切にしています。

職員は、無資格でも一から学べるように介護技術の育成を行っています。利用者様の力を活かす支援をどのようにすれば良いのか?を大切にしています。重度の利用者様になると、言葉での表現が難しくなる方もいらっしゃいます。どのように感じているのか、本人様にはなり得ないですが、できるだけその方の立場に立った思いを考え支援できるよう頑張っています。(表情やこれまでの本人様の言動を元に考える)

地域では、自治会に加入し当番制の班長やリサイクル当番など、地域の一員として出来ることを考え活動しています。また、市のキャバンメイトとして活動させていただき、話し合いへの参加・認知症の啓蒙活動の一端であるRUN伴への参加など、活動へも積極的に参加しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、海の入江の静かな住宅地域に立地している。周辺には民家が多く、商店や公民館、神社などもあり、地域の人々とふれあいながら生活している。気軽に声をかけ合ったり、野菜などをもらったりもする。
- ・自治会に加入し、当番制での班長も担い、地域行事にも積極的に参加している。中高生のサマーボランティアや看護学生の職場体験、地域のボランティアの受け入れなど、地域との交流に積極的に取り組んでいる。さらに認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の相談にも対処するなど日常的に交流している。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図り、職員が働きやすい環境作りに配慮し、職員の意見や提案を積極的に取り入れている。産休制度なども整備され、長期休暇の要望にも対応するなど就業環境が整備されている。
- ・職員は利用者の持っている力を大切にして、笑顔でその人らしい生活ができるように取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の理念である「人権・安心・共生」を元に独自の理念をスタッフと共に作成。朝の申し送り時にスタッフ間で理念の唱和を行い、理念を共有し実践につなげている。	法人の理念を基に独自の理念を作成している。玄関や事務室に掲示し、パンフレットにも掲載している。朝の申し送り時に唱和し職員会議等でケアの実践を振り返り、理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会へ加入し、当番制での班長を行っている。リサイクル当番へも参加している。地域への行事も参加し、催し物を出すなど地域の一員として交流している。	自治会に加入し、回覧板等で地域と情報を共有している。地域行事や清掃活動・リサイクル活動等に参加している。保育園児との交流や中高生のサマーボランティア・看護学生の体験学習などを受け入れ、認知症サポーター養成講座を実施し、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	学生のボランティア体験の受入れを行っている。また、市のキャラバンメイトとしてサポーター養成講座を実施したり、市の行事に利用者様と参加し、ボランティアの方との交流も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議は、定期的に行い事業所の状況を報告している。</p> <p>ヒヤリハットの報告では、参加者からも意見を頂き、ホーム内の会議で情報共有し、意識づけや改善に活かしている。</p>	<p>2ヶ月毎に開催される会議で入居者の状況や行事報告・外部評価報告・ヒヤリハット等の報告を行い、意見交換をしている。服薬についてのヒヤリハットに助言を貰い、サービスに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議での活動報告。生活保護の担当者への報告（受診等）、相談など、行っている。また、キャバンメイトの話し合いに参加し、市民に向けての認知症の啓蒙活動を共に考えている。</p>	<p>市担当者とは、電話や窓口に出向き相談をしたり助言を貰い、情報交換をしている。運営推進会議を通して協力関係もできている。生活保護の担当者とも密に連絡し合っている。市主催の研修会等に参加している</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>利用者様が活動されている時間帯（9時～17時半）は玄関の鍵をかけない。</p> <p>身体拘束を行うことでの弊害を知り、安全対策・リスクを検討しながら、ケアの支援を行っている。</p> <p>同法人内での事例を共有し、自分たちのこととして考え、話し合いの場で検討している。</p>	<p>身体拘束委員会でマニュアルに沿って研修会を実施している。事例検討などで職員の共通認識を図り取り組んでいる。言葉による拘束についても確認し、配慮している。玄関は日中は施錠せず、外出傾向の利用者には付き添って散歩するなど、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	法人主催の研修で、高齢者虐待防止法について学ぶ機会を持ち、絶対に許されない行為として全職員が順守に向け取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人主催の研修で、権利擁護について学ぶ機会を持っている。利用者様で後見制度や自立支援事業を利用されている方がいて、後見人とも連携している。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用時には、ご家族の不安や困りごとを出来るだけ伺うようにしている。契約の際は、丁寧に説明するよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年1回の家族会の際に、利用者とは別に時間を持ち、事業所への意見を伺っている。また、ご家族の面会時にも、話しを伺える状況を作り、ご家族の考えや気持ちを職員会議の場でも報告し共有している。	利用者からは、日々の生活の中で意見や要望を聞いて対応している。家族からは、面会時や運営推進会議時に気軽に意見を言える雰囲気作りをしている。職員からも近況報告を行って要望や思いを出し合って、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>法人では、職員集会にて意見を挙げる場を設けている。管理者会議でも各事業所の経営や課題等を共有し、意見を出し合っている。また、会議の内容について職員にも話し合いの場で報告している。</p>	<p>法人全体での職員集会に参加した職員が、事業所での職員会議で伝達し、職員の意見や要望を聞く機会を設けている。管理者は意見を集約して対応している。職員の要望等を管理者会議等で検討し、職員が働きやすい職場づくりに反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業規則により職員の労働条件は整えられている。法人の職員集会により出てきた意見を管理者会議や理事会で検討し改善を行ってきた。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所外での研修で、スタッフに必要な研修はないかを考えながら、本人のレベルに応じて研修の声掛けを行い、参加している。利用者様の支援を通して、具体的な助言・育成を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>連絡協議会への研修会参加や、キャバンメイトでの行事参加より、他事業所との交流や協力を得ることがあった。利用者様への思いを共有する良い機会となることもあった。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始時には、必ずご本人に会い、心身の状態や困りごと、不安なことを伺えるようにしている。（ご家族や 本人様のことを見守ってこられた方々にも伺うようにしている）		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申込み時に困っていること、入居時には、入居してからの不安等を伺い、具体的な解決案や相談に乗るようにしている。一緒に考えていける関係づくりを大切にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設見学時に状況を伺い、他サービスを含めた情報を伝えることもある。（介護保険のことが分からずに来られることもあるため） サービス利用は、本人・ご家族が希望された際に支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で出来ることを行っている。感謝の言葉を伝えるようにしている。職員が利用者を取り、年長者としての誇りや自身を引き出せるよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の面会時には、出来るだけ本人の状況が伝えられるようにしている。また、日々の状況より考えられるリスクに関しても一緒に考えて頂けるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>友人、家族（親戚）の面会を大切な時間と考えている。ご家族や本人様からの要望を伺い、面会や電話連絡の支援も行っている。</p>	<p>家族や友人・知人の面会が多い。一緒にお茶を飲むなどして継続的關係が途切れないよう働きかけている。ドライブで馴染みの場所に出かけたりもする。行きつけの理・美容院への支援や手紙や電話の取次ぎなども行っている。家族との外出や外食などを支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>リビングやダイニングでの座る位置など利用者様同士の関係を把握し、調整している。また、集団が苦手な方やその時の状況で、1人で過ごすことができる状況も作っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退去されたご家族より連絡を頂いたりすることがある。その際は、こちらが力をもらえるような言葉を頂くこともある。（ご挨拶であったりするが）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で、表情や言動、行動を記録などに記載し、その方の思いの把握に努めている。話し合いの場でも、その方の生活歴を考えながら、どのような気持ちになるのかも検討している。	日常の生活の中でしぐさや言葉・表情などから思いや意向の把握に努めている。申し送りやケース記録で共有を図り、声かけにも配慮している。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時や、ご家族・ご本人から情報を得るようにしている。また、日常生活の何気ない会話からご本人様より情報が得られることもある。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事の時間がおおよそ決まっているが、それ以外はゆっくり過ごせる。お部屋で過ごす方もいるが、リビングに出て来られることが多い。利用者様の持っている力を活かし、お仕事（家事）をお手伝いしてくださる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議の中で、受持ち担当が利用者様の変化や気になることを報告し、利用者様の代弁者として意見出来るようにしている。また、ご家族の面会時に利用者様の言動や話合での気づきをご家族へも行い、情報共有している。	本人・家族の意向を確認し、担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の言動、気づきを細かく記録に残すようにしている。利用者様の現状や変化に気づき情報共有し、対策を取るようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズや困りごとを伺いながら、事業所として出来る事を柔軟に行っている。 例えば、入院された方でもご家族の対応が困難な場合の支援など、ご家族と相談しながらお故意になっている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要に応じ、自治会長・民生員・消防団などへの協力を依頼している。自治会長が地域での連絡網を作成し、高齢者世帯の安全対策を考えている。 火災通報の際に、自治会長へ連絡が行くようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の希望するかかりつけ医の医療を受けられるように支援している。 また、状況に応じご家族・かかりつけ医とも相談しながら、他科受診を行うなど 支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診は家族に連絡して職員が受診同行し、結果は家族に報告している。他科受診は家族の協力を得て支援している。緊急時の対応などは連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者様のいつもの違う体調に気づいたら、かかりつけ医や看護師への相談を行い、受診対応を行っている。</p> <p>往診・受診時には医師や看護師から観察のポイントを伺うようにし、記録に残し支援に活かしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、ご家族とも相談しながら支援している。病院からの病状説明には、出来るだけ参加させていただき 少しでも早く退院支援が出来るようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期に対する指針を定めている。ご家族とも早くから終末期の話しをするようにしている。利用者様の状況に応じて、検査・治療をどこまで行うか、また今後をどのように見守るかを医師・ご家族とも相談しながら行っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針を説明して同意を得ている。状況変化に伴い、家族の意向を随時確認している。主治医を交えて話し合い、事業所でできる事を説明しながら、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急法の講習会に参加している。職員が考えて行動が出来るように講習会でも質問し、救急隊員に教えて頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時の対策として、自治会長にて連絡網（地域の高齢者世帯の対応用）を作成し、グループホーム利用者様も入っている。施設内は、スプリンクラー・火災報知機（自動）などの設備を整えている。</p> <p>事業所の立地を考慮し、満潮時の時間をすぐ分かるように記載している。</p> <p>災害時の水や食料等の備蓄も行っている。</p>	<p>年1回消防署立会いのもとで、昼夜想定避難訓練と年1回自主訓練を実施している。スプリンクラーや火災報知機も設置している。地域の高齢者世帯連絡網を登録し、地域との協力体制ができている。災害用の水・米・ご飯・乾パン・ラーメン等を備蓄し、日用品を準備し玄関に拡声器などを設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人格の尊重について、利用者様の事例をもとに、どのような声かけが望ましいのかを話し合いの場でも検討している。排泄・入浴の声掛け等、配慮した声掛けを行っている。</p>	<p>マニュアルをもとに勉強会を開催し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけやケアに取り組んでいる。入室時や入浴・トイレ誘導などの声かけは羞恥心に配慮している。名前は「さん」付けで個々に対応している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者様によって、自己決定が出来ることが違うが、ささやかなことから場面設定してお伺いするようにしている。(分かりやすい言葉で)</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>おおよその1日の流れはあるが、なるべくその方に合わせるように努め、1人ひとりのペースを大切にしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>起床時に、鏡に向かい身だしなみ(髪など)を整えて頂けるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事時は、みんな（利用者様・職員）が集まる時間。料理の話しや今日の出来事など、楽しく過ごせるような時間になるよう支援している。 現在、食後の片付けを利用者様に手伝って頂くことがある。	旬の食材を使用し嗜好に配慮した献立で、個々に応じた食事形態を工夫している。一人ひとりの希望の誕生食、季節の行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。片付けなどを職員と一緒に رفتりもしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人ひとりの状況に応じて、摂取量や食事形態を分けている。 水分量も把握し、摂取量が少ない方は把握し、アプローチの工夫を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの支援を行っている。 （起床・就寝前・食後） また、利用者様に応じて歯科受診を支援し、口腔ケアの助言も受けるようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人様の排泄のパターンを把握し、その方に応じた誘導・下着の選択を行っている。 また、昼夜の排泄状況も本人に応じた支援を行っている。	排泄チェック表で排泄パターンの把握に努めている。必要に応じての声かけで、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄用品は検討して個々人に合わせて対応している。夜間ポータブル使用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況（性状）を把握し、水分摂取や乳製品の検討を行っている。 また、状況に応じて医師への相談を行い、内服薬の調整を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	現在、こちらの意向で入浴の時間や回数を決めさせていただいている。利用者様からの要望がある際は、柔軟に応じるようにしたい（現時点では、入浴について自らの要望を言われる方はいらっしゃらない）	基本的には週2回の午後になっているが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。ゆず湯なども使用して楽しんでいる。保湿剤も利用している。入浴を拒む利用者には時間調整など職員の連携で、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご自身で、休む時間を作る方もいる。 本人様の状況に応じて、お部屋で休む時間を作ることがある。（前夜の睡眠状況を把握し支援している）		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1人ひとりの状況を把握して、服薬支援をしている。 内服薬について、現状を報告し、医師へ相談し増減の検討、飲みやすいものへの変更など、支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者様自身の出来ることを考え、役割を持っていただいている。また、行っていただいたら、感謝の気持ちを伝えることを大切にしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>近所の散歩や買い物支援など行っている。 行きたいところがある方には、行けることも伝え、行きたい時に教えてほしいことも伝えている。</p>	<p>日常的には周辺を散歩したり職員と一緒に回覧板を届けたりしている。計画を立てて地域の行事や花見・買い物などに出かけ、家族の協力で外出や外食・墓参などにも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在、お金を所持されている方はお1人。本人の必要に応じた買い物支援が出来るようにしている。買い物時もお金のやり取りも見守るようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人様の管理ができれば携帯電話も持っていただいている。出来るだけ、本人様の大切な方との連絡が行えるような支援を行いたいと考えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様たちに過ごしやすい状況を作れるよう配慮している。まぶしさや寒さなど、考えて調整を行うようにしている。出来るだけ、季節感が取り入れられるように掲示するものなども配慮している。	共用空間は、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。飾り付けや季節の花が飾られていて、テレビを見ながらゆっくりくつろげ、落ち着けるスペースになっている。広縁にソファがあり、海の干満など外の景色を楽しみながら、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様に応じて、リビングで過ごしたり、縁側から外（海・山・車など）を眺めて過ごしたり・・・と思い思いに過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、利用者様の過ごしやすくなれるような空間になるよう配慮している。本人様が重度化するとそれに応じて、環境（本人様の目線等への配慮・ベッドの配置等）も検討することがある。	居室は引き戸である。ベッドやタンス・椅子・時計が備え付けである。寝具や遺影・位牌・写真・本など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるような工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の目線を大切に、文字や明るさなど配慮している。手すり等があることで、安全に動ける状況を作るようにしている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない